

読書の家から



新刊案内

■あぶた読書の家

へー 一般▽山本周五郎長編小説全集(全26巻)第10巻風流太
平記▽満州国演義第8巻南冥の
雫(船戸与一)▽愛に乱暴(吉
田修一)▽聖痕(筒井康隆)▽
私のの中の彼女(角野光代)▽
蜚の森(石井公太)▽雪まろげ
(宇江佐真理)▽それでも私は
山に登る(田部井淳子)▽正
義をふりかざす君へ(新保裕
一)▽記憶障害の花嫁(北海
道放送報道取材班)▽偽りの館
叔母殺人事件(折原一)▽獅
子の城塞(佐々木譲)▽黒田

官兵衛(童門冬二)▽かげろ
歌麿(高橋克美)▽沈黙のエ
ル(横関大)

へー 児童書▽いいから いいか
ら(長谷川義史)▽サンタさん
ありがとう ちいさなクリスマス
のものがたり(ルイーズ・
フアティオ/かきもとこうぞう
訳)▽クリスマススのまえのよ
る(クレメント・C・ムーア/ロ
ジャー・デューボアザン)▽さん
かくサンタ(ツベラツベラ)▽雪
がやんだら(酒井駒子)▽おこ
りんぼママ(ユッタ・バウアー)

■みずうみ読書の家

ふじ子▽ノボさん(伊集院静)
▽リアスの子(熊谷達也)▽あら
すじで読むシエクスピア全作品
(河合祥一郎)▽イン・ザ・ヘブ
ン(新井素子)▽ペテロの葬列
(宮部みゆき)▽新老人の思想
(五木寛之)▽ジョン・マン望郷
編(山本一力)▽渡良瀬(佐伯一
麦)▽絵本で読みとく宮沢謙治
(中川素子)
へー ロータリー文庫▽東日本大
震災を分析する(平川新他)▽活
断層とどう向き合うか(常田賢
一他)▽火山の本(シルベース・
ペロル)▽火山のサバイバル(洪
在徹)▽温泉とは何か(森康則
他)▽地底の科学(後藤忠徳)▽
地震予知と噴火予知(井田嘉明)
▽巨大地震の科学と防災(金森
博雄)▽一般気象学(小倉義光)
▽地球ウォッチング(古儀君男)
▽講談社 ブルーバックスシ
リーズ全83冊

今月の1冊



とうさんの
あしのうえで
作 いもとようこ

ペンギンの親子の感動的な
いのちの物語! 南極の冬、マ
イナス 50 度。コウテイペン
ギンの夫婦は、命をかけて、
たった一つの卵を守り、育て
ます。命を賭けて子どもを守
る姿を、いもとようこさんの、
やさしい絵とともに、命の重
さを子どもに伝える絵本。



●開館時間

午前10時より午後4時20分まで

●3月休館日

13日・20日・21日・27日・4月
3日

(毎週木曜日・祝祭日休館)

あぶた読書の家 ☎ 76・2100

みずうみ読書の家 ☎ 75・4702

わたしのうた



短歌

【あぶた短歌会】 二月定例会

身も心も洗はれてゆく思ひに

かすがしき音に川は流るる

老なして右か左かとまどいて

冬の狭間でいのちさぶしむ

遠く住む孫も加はり新春迎へ

鉢に植ゑたる梅もほころぶ

環境の破壊が大きき要因か

稀なる降雨は睦月一日

春の日に晶子のごとき恋の短歌

詠んでみたきが年かさねしも

俳句

【あぶた俳句会】 二月定例会

終バスや寒満月に見守られ

初場所や沸く歓声にペンとどむ

団樂のふくらむ句座や日脚伸ぶ

洞爺地区リハの車や日脚伸ぶ

屋根の雪落として見える噴火湾

山 木 孝

大 西 芳 子

北 島 加 代

太 田 智

元 田 フジ子

那 須 伶 子

矢 野 知 子

菅 原 敏 子

三 瓶 修

小笠原 勇